

# インフルエンザシーズン到来

ファイナンシャル・プランナー 菊池 昭仁

日に日に寒さが増していますが、体調はいかがですか。今年もインフルエンザ（季節性）のシーズンがやってきました。予防接種はもう受けましたか？

受けていない方、その理由はもしかして、「予防接種は全額自費で高い」、「インフルエンザにかかったら、保険診療だからその方が安い」などの費用に関することですか？実際のところの費用はどのようなのでしょうか。比べてみましょう。

## 1. 予防接種を受ける

今年のワクチンは新型を含む3種類の型に対応していますので、昨シーズンのように新型と季節型を別々に受ける必要はありません。

接種回数は1回又は2回です。小学生以下の方は2回、中学生以上65歳未満の方は1回又は2回、65歳以上の方は1回となっています。

費用は医療機関により異なりますが、1回3,000円前後のところが多いようです。

## 2. 発症後に治療する

インフルエンザの治療は、症状や患者さんの体力、治療を始める時期などにより異なります。今回は次のモデルケースを想定しました。

- 前日夜からインフルエンザのような症状が出たため診療所を受診。検査<sup>注1)</sup>の結果A型インフルエンザと診断された。
- 医師からは抗インフルエンザウイルス薬のみが5日分処方され、院外処方せんが発行された<sup>注2)</sup>。
- 院外処方せんを近所の大きな病院の前にある、患者さんの多そうな薬局へ持っていく、薬を受け取った。

このモデルケースでの試算結果は次の通りです。

支払先	費目	保険点数	自己負担(3割)
診療所	初診料	270点	
	検査費用	294点	
	処方せん料	68点	

コラムの無断転写・転載などを禁じます。 -

Copyright © 2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

	計	632 点	1,890 円
--	---	-------	---------

支払先	費目	保険点数	自己負担 (3 割)
薬局	調剤基本料	24 点	/
	基準調剤加算 1	10 点	
	後発医薬品調剤体制加算 1	6 点	
	調剤料	25 点	
	薬剤料	310 点	
	薬剤服用歴管理指導料	30 点	
	薬剤情報提供料	15 点	
	計	420 点	

よって自己負担 (3 割) は、1,890 円 + 1,260 円 = **3,150 円**です。

### 3. 結論

今回の比較では、予防接種 1 回の場合は、発症後の治療費との間に大きな差がありませんでした。費用の面ではどちらを選んでも問題ないようです。

#### 最後に

費用の面で差がないということは、予防接種を受けても損はないということでもあります。発熱などのつらい思いをせずに済みますし、なによりも周りにウイルスをばらまくことを防ぐことにつながります。

もちろん予防接種は完全ではなく、予防接種を受けてもインフルエンザを発症してしまうこともあります。また副反応という、薬でいうと副作用のようなことが起こる可能性もあります。3/10,000,000 という確率ですが死亡する方もいらっしゃいます。

こういったデメリットもありますので、皆さんに対して「絶対受けた方が良い」とは言えません。メリットとデメリットを考えて、皆さん自身でご判断いただければと思います。

ちなみに私自身は、ほぼ毎年受けています。

注 1) 今回のモデルケースでは、インフルエンザ迅速診断キットによる検査のみを実施したと想定しました。

注 2) 抗インフルエンザウイルス薬は、発症後 48 時間以内に服用を開始しないと効果が期待できないと言われています。